

会員向け勉強会

令和3年7月15日 大阪商工会議所「末広の間」

「つなげようSDGsの輪」

大阪商工会議所女性会組織委員会主催の勉強会「つなげようSDGsの輪」が7月15日に開催されました。

最近の勉強会は、当日の会場参加と後日ネット配信でも拝見できるハイブリット形式です。コロナ禍の副産物で、とても良いことだと思います。私はネット配信で参加させていただきました。

SDGs (Sustainable Development Goals) は、一般市民にも、法人にもまだまだ身近とはいえない段階で、啓発期間でもある中、意識を持ち目標を掲げて取り組みをスタートしている企業や団体も沢山あるようです。

SDGsは、2015年9月の国連サミットで全会一致で採択された「持続可能な開発目標」を指します。政府だけでなく、世界中でヒアリングを行い、オンライン調査で1,000万人以上が参加したのも含め、世界が合意した目標で、キーワードは「Leave No One Behind (誰一人取り残さない)」です。

2030年までを期限とする世界共通の17の目標により、貧困や飢餓や暴力を撲滅し、地球環境を壊さずに経済を持続可能な形で発展させ、人権が守られている世界を実現することを目指すものです。

今回は、勉強会の前半は「SDGsに関する基本的な知識について」と題して、講師は、株式会社ディプロム・グローバルソリューション代表取締役の貴島清美氏が講演されました。貴島氏は早くから問題意識を持って取り組まれています。お話をうかがって、SDGsに診断チェックがあることや、ミレニアム開発目標 (Millennium Development Goals: MDGs) はSDGsの前段階があったということも理解できました。

MDGsは、2001年にまとめられた2015年までの国際目標であり、1990年代に開催された主要な国際会議・サミットで採択された「国際開発目標」と、2000年に開催された国連ミレニアム・サミットで採択された「国連ミレニアム宣言」とを統合して作られたもので、8つの目標、21のターゲット、60の指標が定められていて、いまのSDGsに引き継がれているものと理解できて、やっと私の頭の中で整理ができ、腑に落ちました。

貴島氏の講演は非常にわかりやすく纏めていただけておりました。

後半は2社、株式会社トウヨウ貿易代表取締役の岸澤可乃氏と、共栄印刷株式会社代表取締役の柳有香氏の事例発表です。

17の目標の中から複数の目標を選択し、社内で行い、社内で取り組まれています。

岸澤氏は、「働きがいも経済成長も」「産業と技術革新の基盤をつくろう」「人や国の不平等をなくそう」「パートナーシップで目標を達成しよう」という分野で、柳氏は、「人や国の不平等をなくそう」「陸の豊かさを守ろう」「パートナーシップで目標を達成しよう」を目標として選択されています。

全体を通して感じたのは、女性経営者ならではのしなやかかつ無理の無い、自然体での取り組みだと感じました。

この勉強会を通して自社のテーマにどれを選ぶか、またこれなら取り組みたい。これとこれの組み合わせなら既に実施していたことに気が付かれた女性会メンバーも多かったと思いました。

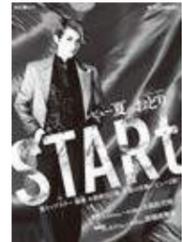
また大阪・関西万博こそがSDGs万博です。わたしたち大阪商工会議所女性会メンバーも全員参加で何か出来るのではないかと、お話を聞いて大きな勇気をいただきました。

(株式会社アル・コネクションプロダクツ 代表取締役 中西 理翔)

懇親事業「夏のおどり」鑑賞会

令和3年6月15日 大阪松竹座

OSKレビューを観劇して



コロナ禍で精神的にもだんだんと疲れがたまり、また季節の変わり目と言うこともあってか、予定通り感染に充分注意して松竹座さんにてOSKの舞台、レビュー夏のおどりの観劇が催行されました。我々女性会の仲間35名は、一階の良のお席で観劇させてもらいました。OSKさんと言えば、私の子供の頃は白浜のハマブランカでロケットを観たことをよく覚えており、今回のレビューもさぞやあでやかなものだろうと期待して伺いました。

20年8月に桐生麻也さんからバトンタッチなさりトップとなられた楊琳さんをはじめとする華麗なダンスで、昔とはまた一味違った異次元空間にいざなって頂き夢心地のあつという間の二時間を過ごすことができました。

現トップスターの楊琳さんはかつて宝塚受験をなさるにあたり日本テレビ「ザ・ワイド」で密着取材を受けておられた方で、くしくも宝塚入団は逃されましたが、翌年NewOSK日本歌劇団研修所に第83期生として入団された実力派トップスターであられます。

もちろんファンも多く彼女の出演では客席の声援がものすごかったです。前任の桐生さんも今は特別専科に移籍されておりますが、その恵まれた長身を男役として余すところなく発揮なさってOSKを盛り立ててくれました。桐生さんはスペイン人とアメリカ人のハーフのお父さんと日本人のお母さんを持たれていて、OSKに入団されるまでは陸上競技でインターハイ入賞の経緯も持たれている異色のトップスター。道徳で鍛え抜かれた体をお持ちで力強いダンスはひときわ目を引くものでした。特別専科になられてからは松竹新喜劇にもお出になるようでさらに演技の幅を増やされているようです。

久しぶりに会えた女性会のお仲間同士和気あいあいと幕間も楽しく正に元気の出るレビュー観劇。大阪の歴史を物語るOSKさんの本領を見た気がいたしました。次回も是非観劇したいです。

(株式会社伊東商事 代表取締役 永井 理彦)

上方伝統芸能ナイト鑑賞会

令和3年9月25日 山本能楽堂

上方伝統芸能ナイト鑑賞会 山本能楽堂にて

9月25日(土) 15時開演

浪 曲：台風シーズンに合わせた防災に関わった演目がタイムリーでほろりとさせました。

文 楽：人形の振り付けの表現は、悲しい時ほどフリが大きいのが特徴との事で一番前の特等席で見ていて、人形の指先動きが判り距離感の近い劇場の面白さを感じました。

上方舞：地唄の特徴は何を聞いても寂しい(待っても来ない、会えない)との説明を聞き、かえって楽しく聞けました。

能：面をつけるのと片目になるので、柱で距離を見ていると説明を受け、芸事の難しさを感じました。鼓の場面毎の迫力は体に感じる程。

落 語：話のマジックで久しぶりに大笑いです。

その他：三味線のバチや弦の太さで音が変わる等、知らない人も入りやすい入門編から広く認知してもらおうという企画で日本の芸能にふれた初秋の週末となりました。

(株式会社タナック 代表取締役 藤河 和子)

編集後記

NOW2021年春号をお届けして半年、一朝一夕にはどうにもならないコロナ禍に、それでも、皆様、経営者のお立場で、工夫を続け取り組んで来られたのではないのでしょうか。今回お届けするNOW。女性会も止まることなく、知恵を巡らせて活動を続けた記録です。振り返って懐かしくお楽しみいただければと思います。

最後になりましたが、原稿執筆いただいた皆様、校正に携わってくださった皆様、ご協力、ご尽力のおかげで、NOW2021年秋号発行できました。心より御礼申し上げます。

(広報委員会 末永 京子)

NOW

Vol.45 2021年 秋号

ハギ 花言葉B「思索」「柔らかな心」

2021年度の主な事業予定(後半)

2021年

11月22日(月) 大商女性会会員向け勉強会

11月29日(月)【大阪府女性会連合会】研修交流会

12月3日(金) 映画「外天者(てんがらもん)」上映会

2022年

1月27日(木) 新年互礼会

2月9日(火) 経営事例発表会

3月予定 【関西女性会連合会】理事会&会長会議

大阪商工会議所女性会 令和3年度通常総会・講演会

令和3年6月28日 帝国ホテル大阪「エンパイアールーム」

コロナ禍で異例づくしの総会でしたが『ひとりではない』と再確認

令和3年度の大阪商工会議所女性会通常総会が、6月28日に帝国ホテル「エンパイアールーム」にて、会員73名(新入会員:3名含む)、ゲスト3名の出席で行われました。

新型コロナウイルス感染拡大防止に関する注意喚起が続いている中での開催となった今年度の総会は、入館時の検温・マスク着用・アルコール消毒・スクール形式という、徹底した感染予防の中、「商工会議所女性会の歌」の斉唱はCDで、「商工会議所女性会の活動指針」の唱和は正副会長による読み上げのみという異例の対応で開催となりました。

冒頭、廣瀬恭子会長より、コロナ禍で厳しい状況下でも、会員の飛躍を誓うご挨拶があり、その後議案の審議に入りました。

事業報告と収支決算についての審議が行われ、原案どおり承認可決されました。続いて会員増強に尽力された岸本美智子常任委員への感謝状贈呈、新入会員紹介の後、大阪商工会議所尾崎裕会頭より「未曾有の事態で大変な時代ではあるが・・・脅威はチャンス。みんなで難局を乗り越えていきましょう!」と激励いただき、総会は終了しました。

引き続き、コクヨ(株)黒田章裕会長(大阪商工会議所副会頭)より「ニューノーマル時代の経営者の役割」という演題でご講演いただきました。

経営をたて糸とよこ糸で表現され、これからのニューノーマルな時代の働き方を『一体感』『働く目的』『共感・共創』『多様性・自律』というキーワードでご説明していただいたご講演は、わかりやすく大変興味深い内容でした。

コロナの終息がなかなか見えない中、会員相互が集まったり語り合うことが難しい未曾有の事態の中で、こころが折れそうになったこともありましたが、総会は少しの時間ではありましたが、会員の方々と貴重な時間を共有でき、『ひとりではない。』と再確認できる場となりました。

(株式会社インフォメーションプラスティ 代表取締役 宮田 薫)



関西商工会議所女性会連合会総会・奈良大会

令和3年6月9日 大阪商工会議所 「末広の間」

コロナ禍の中、工夫を凝らした完全オンラインで開催

6月8日、関西商工会議所女性会連合会総会・奈良大会が奈良商工会議所女性会の運営により、完全オンラインで開催されました。

関西商工会議所女性会連合会の廣瀬恭子会長のご挨拶に続き、来賓のご挨拶では、奈良県の荒井知事より「奈良は女性社長の数が関西で一番多く、貯蓄額も一番多い」、奈良市の仲川市長からは「市役所の女性管理職が30%以上」という、女性の活躍が目覚ましい奈良を印象付けるお話がありました。また、奈良商工会議所の小山会頭は「インバウンドはコロナ禍で消えてしまったが大阪・関西万博に期待する、また女性の力に期待する」とのお言葉がありました。

総会の議案が無事可決された後、奈良大学文学部 教授 千田嘉博様より、「城と女性－戦国時代を生きる－」という講演をお聞きしました。歴史によく登場する興味深いお話で、参加者の皆様はすっかりお話の世界に入り込まれておられました。

コロナ禍で残念ながら懇親会はありませんでしたが、采女（うねめ）に扮した奈良商工会議所女性会の皆様の楽しいお話と物産展の案内がございました。物産展は大和まほろば夢空市と銘うってWEBで開催され、奈良の名品・名店のお買い物を帰宅してから楽しめるというものでした。私も帰宅してからしっかりと楽しませていただき、物産を購入いたしました。

楽しいお食事会はなく大変残念ではございましたが、新しい形をお示しいただく会となり、実りの多い総会でした。

(千里山バス株式会社 専務取締役 宮部 忍)



第53回全国商工会議所女性会連合会オンライン総会開催のご報告

令和3年10月22日 大阪商工会議所 「末広の間」



「第53回全国商工会議所女性会連合会オンライン総会」の式典が10月22日（金）東京丸の内KITTEホールで開催され、全国356女性会から約3,800名人の会員がオンラインで参加しました。開会前にコロナ禍に於ける各地女性会の事業活動が紹介され、廣瀬副会長の開会宣言で開幕しました。

全女連の市瀬会長のご挨拶後、日本商工会議所の三村会頭より一層活発な活動を展開して頂きたいと激励され、経済産業大臣政務官の吉川ゆうみ氏からは、ビデオメッセージが寄せられました。

次に女性企業家大賞、エクセレント賞及び全女連表彰が行われ、個として光り、他の範となる事業や活動をしたとして、大商女性会の「経営事例発表会」が最優秀賞（日商會頭賞）を受賞しました。

次回開催地である福島県女性会連合会からは福島全国大会（2022年10月7日～8日開催）へ参加の呼び掛けがあり、河原副会長の閉会宣言で式典は終了しました。

続いて、オンラインによる各女性会の紹介や、グループに分れてのオンライン交流会が行われました。

記念プログラムでは、女性会起業家大賞を受賞された株式会社クック・チャムの藤田敏子氏が「女性の力は宝の山」と題してご講演されました。また、一橋大学大学院教授のクリスティーナ・アメージャン氏は、渋沢栄一に学ぶとして「渋沢栄一POWER!」と題した講演をされました。

総会終了後、全商女性連表彰「特別功労者表彰」を受賞された河内幸枝顧問に廣瀬会長から表彰状をお渡ししました。

(株式会社岸本総合リサーチ 代表取締役社長 岸本美智子)



経営事例発表会

令和3年10月13日 大阪商工会議所 「末広の間」

コロナ禍でのビジネスの変遷と新しいカタチ



株式会社 Ngrowing
代表取締役
古澤みちよ 様

古澤さんは、嫁ぎ先が経営される株式会社日宣（現在：株式会社 Ngrowing）に2009年入社、経理業務からスタートされました。会社は映画産業に特化する宣伝広告業です。嫁の立場から会社の代表になるまでには、古参の社員との関係や古い体質の経営に悩まれましたが、大きな決断と改革により、50年を迎えた会社のイノベーションに取り組みました。

1、経理のIT化、いつでも必要なデータが取得でき人件費の削減に成功

入社以来ずっと古い体質だった会社の経理業務をIT化することで、リアルタイムに数字を把握することができ、経費の流れがスムーズになり人員もカットすることができました。この改革成功後、代表取締役に就任されました。

2、隣接異業種への進出

社内9割の仕事がルーティンワークのため、新規顧客への営業ノウハウがない状態でした。古澤さんの想いを伝えても管理職になかなか伝わらない状況の中、「人と時代に響くサービスを」というコンセプトを立て、隣接異業種への進出に取り組みました。映画作品については、宣伝と広告を掛け合わせ、WEBを使った展開や企画から運営までを統括したイベント開催など新しい媒体を展開しました。2015年には、株式会社 Ncreation を設立し音響技術と声優養成所をM&A。吹替収録や声優・俳優のプロダクションを東京・大阪で展開しました。2016年スリランカ投資省親善大使も拝命され、2017年日本スリランカきづな協会を設立した後、スリランカにて映画祭を主とする JapanExpo などを開催しました。しかし2019年、世界は新型コロナウイルス感染拡大で売り上げ激減、SNSなどの媒体変化などにより会社は大きなダメージを受けました。

コロナ禍においては、海外へ目を向けて新規企画の立ち上げをするため、コンサルタントをいれ大勉強会を実施しました。そのかいあって、従来の事業が伸びない中、WEBやSNS広告、音楽イベントのオンライン中継の他、イベント会場のソーシャルディスタンスシートなどが好調となりました。また、声優プロダクションの吹き替え収録が伸びたことで、新規事業企画として「子供声優体験」や「臨場感ある音のブランディング」サービス、マンガの吹き込みなど色々な企画イベントができるようになりました。2020年社名を株式会社日宣から Ngrowing に変更し、更なる成長とスリランカとの文化交流促進を今後も続けていきたいと締められました。

(株式会社ディプロム・グローバルソリューション 代表取締役 貴島 清美)

予定外の人生に、無駄なモノは何もなかった



都島自動車株式会社
代表取締役
高士 佳子 様

高士さんとは、大阪商工会議所女性会への入会時期も殆ど同じで、交流会の企画でも協力しあったこともあります。『タクシー会社の社長さんなのだ～。凄いな～。』『裕福な家庭に生まれはってんやろな～。』といつも忙しそうなお嬢さんを見て思うだけで、本日、初めて彼女に触れた感じが致しました。

学校を卒業したら結婚して、お茶の教室をしながら子育てをしていく人生構図を描かれていたとは、想像もつかなかったです。

幼稚園の頃、忙しくされていたご両親に変わり、おふたりの弟さんとの3人での時間に養われたリーダーとしての責任感、その後帝塚山学院の理念『一にも力、二にも力、三にも力、力の人。』の通りの自力を身につけられ、お父さまの会社に課外授業のバスが依頼された際には命を預かる大切さを実感されました。突然の技能指導員受験に際して女性蔑視、不合格という人生唯一の挫折を経験するも乗り越えて資格を取得、その後の過労入院からは健康が一番と開眼、日本女性初の習熟指導員になるも目まぐるしく変わるカリキュラムや資格に対応していくお話をお聞きして、変化の力等々、今に生かすために、幼き頃より自然に培われた様々な経験や想いがあるのだと痛感致しました。

コロナ禍の影響の中、魚屋さんの2代目さんをタクシー運転手に転職させて、某会社の社長専属のハイヤーの運転手に抜擢されたり、バスガイドさんに運行管理者の資格を取得させたり、観光バスの運転手さんを学校の送迎バスに起用したりと臨機応変、スピード感と柔軟性で時代に対応。次々に新回路を開拓。

『山より大きな猪は出ない。』という戦中を生き抜き、経営者として生きて来られたお父さまの実体験の言葉を胸に、亡くなったお父さまに背中を押してもらいながらの行動。

『全ての社員の健康と社会の方の命を守る。お客さまを第一に考える運行。』こんな素敵な経営者のもとで働きたいと思う方も多いはずと思いきや、

『2020年度働きやすい職場認定制度』認定事業者に認定されておられました。やわなお嬢さまではなかった高士さん、さすがです。

(株式会社 WINWIN 代表取締役 山内 祥子)